

a/d. 衰弱、悪液質、食欲不振

- 高蛋白質・高脂肪で、衰弱時・回復時に必要なエネルギーを供給
- 筋肉組織のエネルギー源となる分岐鎖アミノ酸 (BCAA) を強化
- 免疫力の維持に役立つアルギニンとオメガ-3脂肪酸を強化

p/d. 〈犬用〉 回復期、成長期、 幼犬、母犬の栄養補給

- 蛋白質、脂肪、カロリーを多く含み、衰弱状態からの回復時や成長期の犬、妊娠・授乳期の母犬の体力を維持
- 脳や神経、目のためにDHA (ドコサヘキサエン酸) を配合
- カルシウム、リンなどの栄養バランスに優れ、成長期の犬に必要な栄養を供給

食事管理のポイント

- 高蛋白質、高脂肪のフードでしっかりエネルギー補給をしましょう
体の回復には多くのエネルギーを必要とします。蛋白質をたくさん与えて、体をしっかりとつくり、脂肪を十分に与えて、体にたくさんのエネルギーを補給します。
- ビタミン、ミネラルを増強したフードを与えましょう
体の修復や適正な栄養バランスをとるために、ビタミン、ミネラルが役立ちます。



ヒルズのプリSCRIPTION・ダイエット
栄養補給用フード

a/d. p/d.

※ 獣医師の指示にしたがって与えてください。

a/d. 衰弱、悪液質、食欲不振



〈犬猫用〉 缶詰 156g

p/d. 回復期、成長期、 幼犬、母犬の栄養補給



〈犬用〉 ドライ 1kg
缶詰 370g

病院名



販売元
日本ヒルズ・コルゲート株式会社
〒135-0016 東京都江東区東陽3-7-13



販売総代理店
大日本住友製薬株式会社
〒553-0001 大阪市福島区海老江1-5-51

愛犬愛猫に関する情報 ヒルズホームページ <http://www.hills.co.jp>

※製品のデザイン・重量などは変更することがあります。

2008.06



犬と猫の 栄養補給のおはなし



栄養補給とは

ペットは病気やケガをすると、体を回復するためにいつもより多くの栄養が必要になります。食事が食べられないような状態が続くとさらに体力が落ちます。そうなると、筋肉が弱まり、体内に蓄えていたエネルギーも減少していきます。そのような状態に陥らないように、適切な量の栄養素を補給することは組織の修復を助け、免疫力を強化し、けがや病気からの早期回復に役立ちます。



※定期的に獣医師の診察をお受けください。

病気やケガの時は、 いつもよりエネルギーが必要

動物が外傷、感染症、発熱などの時には、体の維持のためエネルギー消費量が増え、予備として体内に蓄えていたエネルギー源を使ってしまっている状態になっています。体の回復のために代謝が進むので、食事が十分でないと栄養不良に陥りやすくなります。そのため、十分な栄養補給が必要になります。

与え方の例

シリンジによる給与



手やスプーンによる給与



フードボウルからの給与



体力回復の目標

ペットが病気やケガから回復しているとき、次の4つのことを心がけましょう。

- 病気やケガの原因を取り除く
- 病気やケガの治療をできる限り行う
- 病気やケガの間に失われた栄養を満たすように栄養補給を行う
- 細菌感染など、治療の妨げとなるようなことが起こらないようにする



回復を遅らせる可能性があるもの

- 体の状態に合っていない食事
- 栄養バランスがとれていなくて、量も不十分な食事
- 栄養の不足
(嘔吐や下痢が継続している場合は栄養が足りなくなっているため、栄養失調を起こしやすい)
- 細菌感染が起こるような不潔な場所、状態
- ストレスのかかる不快な環境

! こんな症状が出たら要注意

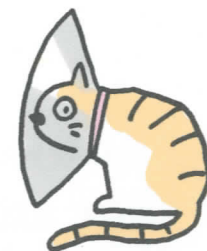
日ごろからペットの行動をチェックして、以下のような症状が見つかったら、早めに動物病院にご相談ください。

- けがや病気をする前よりもさらに体重が減っている
- 1日以上食欲がない
- 元気がない／寝てばかりいる
- 傷の治り方がいつもより遅い
- 傷口から嫌なおいがする
- 呼吸が浅くて速い
- いつもより、のどが渇いているようだ



🏠 ホームケア

- 獣医師の指示したフードのみを与えましょう
- 食欲が落ちている場合には、食事は少しずつ、何回かに分けて与え、1日の食事量を増やすように工夫しましょう
- ケガをしている場合は、傷口は清潔にし、乾燥させるようにしましょう
- ペットに傷口や包帯をなめたり触ったりさせないようにしましょう。このような場合、特別なカラーをつけるようにしましょう



- ペットがリラックスできるような場所を作り、ペットの体を温めるようにしましょう
- ペットの症状の変化をよく観察して、新たな症状が現れたりペットの行動に変化が現れたらすぐに獣医師に相談しましょう